

第36回研修会ご案内

認知症は、現在の疾病の中で最も有名な病気の一つで、誰もがなり得るもの
だと言えます。日本における患者数は増加し、今後の超高齢化に伴い、さらなる
増加が予想されます。

今回の演題は、認知症疾患医療センターの業務と役割について、ひだか病院
認知症疾患医療センターよりご紹介します。次にニュースでも話題のアルツハ
イマー型認知症の新しい薬剤「レケンビ点滴静注」について、エーザイ（株）よ
りご紹介させていただきます。この機会に是非ご参加下さいますようお願い申
し上げます。

1. 日時： 令和7年2月20日（木）午後7時～午後8時30分
2. 会場： ひだか病院 診療管理棟 3F講堂
3. 演題： ①「認知症疾患医療センターの業務と役割について」
講師：ひだか病院認知症疾患医療センター
精神保健福祉士 楠本 祐史 氏
②抗Aβ抗体薬「レケンビ点滴静注について」
講師：エーザイ株式会社
奈良和歌山統括部 清水 嘉一 氏

※ 準備の都合上、別紙参加者名簿を令和7年2月13日までに事務局あて FAX 等
にて提出をお願いします。



フレンズつながり事務局

日高在宅医療サポートセンター

TEL 52-5255 Fax 52-5256

Eメール hidaka.s.center@sage.ocn.ne.jp